

令和5年度 デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)事業の評価・検証について (1年目)

①事業の名称

関係人口の拡大による地域産業活性化プロジェクト
-------------------------

②事業の名称

主管課・グループ	商工観光課 商工観光労働グループ

③総合戦略での位置付け

総合戦略での位置付け	安平町デジタル田園都市国家構想総合戦略の分野・施策の位置付けを記載	
【施策分野】	【具体的施策】	【関連ページ】
雇用	地域資源を活用した地域ブランド化支援と新たな産業創出	P36
くらし	商業の振興	P52
回遊・交流	回遊・交流ステーション形成事業の推進	P57

④事業概要・目的

<p>人口減少社会において自治体間での獲得競争が続く中で効果的な結果を出すために、交流人口や関係人口の拡大を重要政策として掲げ、地域外からの来訪者やリピーターとの交流や消費力を地域づくりに活かす取組を進めている。この取組を助長させ、将来的には観光目的地としての知名度を高め、立地の好条件を生かした来訪者を多く獲得し、地域外からの消費力や人のつながりを地域づくりに活かしていきたい。</p> <p>■構成事業                      (1)地域ブランディングの確立と商品開発の支援事業                      (2)起業者の支援と既存事業者の後継者支援事業</p>	
本年の位置付け	計画期間内における位置付けを記載
<p>(1)地域ブランディングと新規商品開発を支援し、当町への来訪動機となるご当地商品の磨き上げを行う。                      (2)起業創業者の入門的学びや準備支援を後押しするとともに、既存事業者の事業継承の意向把握に着手する。</p>	

⑤事業費及び交付金額(実績)

事業名	事業費	交付金額
地域ブランディングとご当地商品の開発支援	10,808,400円	5,404,200円
(内訳) 地域ブランド構築事業(委託料)	7,777,000円	3,888,500円
商品開発支援補助金	3,031,400円	1,515,700円
新たな創業や事業継承の支援	1,545,600円	772,800円
(内訳) 創業塾支援事業(補助金)	341,600円	170,800円
事業継承意向調査(委託料)	1,204,000円	602,000円
計	12,354,000円	6,177,000円

⑥本事業における重要業績評価指標(KPI)と実績値

\* 上段:目標値 下段:実績値

重要業績評価指標(KPI)	事業開始前 (基準値)	R5年度増加分 (1年目)	R6年度増加分 (2年目)	R7年度増加分 (3年目)	KPI増加分の累計
安平町の観光客数(千人)	832	3 101	3	3	9 101
新規商品開発件数(件)	0	4 9	4	4	12 9
新規起業件数(件)	2	2 4	2	2	6 4
事業継承相談数(件)	0	2 2	2	2	6 2

## ⑦自己評価と課題

自己評価	当初KPIと実績値を踏まえた事業の評価を記載
<p>■本事業では、観光施策として交流人口や関係人口を拡大し、その来訪層を町内での起業や事業継承に誘い、商工分野の課題である商店街の活性化を目指していくことを目的としている。</p> <p>■観光分野においては、各種メディアを活用したプロモーションや道の駅を拠点とした情報発信事業において、交流人口・関係人口の増加が図られている。</p> <p>■また、当町へのリピーター層の確保のためには、町の魅力や地域固有の商品開発などが必須となるが、「地域ブランド構築事業」においてプロ目線を取り入れた商品開発を進める中で、チーズ工場誕生90周年の節目にビンテージチーズを販売するなど、新たな取組を進めることができた。</p> <p>■創業や事業継承の支援においては、創業塾の受講者を4件起業に繋げるとともに、継承を希望する事業者に対して具体的な相談機会を創ることができた。</p>	
課題	事業を継続する場合における課題を記載
<p>■「地域ブランド構築事業」においては、固有の地域性を活かした商品開発の機運をいかに盛り上げ、継続していくが課題である。</p> <p>■創業塾支援業務については、件数や職種が広がってきているので、線引きをどこまでにするか精度を高める必要がある。</p>	

## ⑧未来創生委員会(外部有識者)の意見

<p>【R6.7.25開催時各委員発言抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人口の維持だけでは、この辺の活性化が維持できないと考えている。増加が重要である。</li><li>・学生など若い人を呼び込むことが、商業の発展にもつながると考えている。</li><li>・グリーンツーリズムをより加速させることが、安平町にとってロケーションなどのポテンシャルを生かす機会だと考える。食も重要なキーワードだと考えている。</li></ul>
---

## ⑨自己評価・課題を踏まえた事業改善ポイント

<p>&lt;R6に向けた改善ポイント&gt;</p> <p>■観光プロモーションと回遊促進窓口機能の強化事業においては、商品開発や市場価値を高めるためのブラッシュアップ、さらには販売ルートの確立など、事業者自らの力で稼ぐことができるような支援体制が必要なため、地域としての成功体験を創出し、事業者が自走できる仕組みづくりを目指した事業展開をR6も継続して実施する。</p> <p>■地域ブランド構築事業においては、地域のオリジナリティを活かすほど原価率の高さなどの課題が伴うため、プロ目線の助言を受けながら解決策を模索していく。</p> <p>■創業塾支援業務については、制度は認知され年々実績は増えてきているが、申請問合せが寄せられる職種も多岐にわたってきているのでケースごとに対象経費を検討し、精度を高めていく。</p>
---